

KANSAI Univ. News

2011年
5月15日
第399号

関西大学通信

The first issue was published on June 19, 1969 and renewed on October 1, 2009.

■CAMPUS TOPICS

「堺シティマラソン2011」に関西大学が特別協賛

体育会サッカー部の櫻内渚さんが、ジュビロ磐田に加入内定

■Kaisers飛躍

期待の新人選手に注目



THINK × ACT
KANSAI
UNIVERSITY

堺シティマラソンの様子 (写真提供:産経新聞社)
(関連記事2面参照)

「堺シティマラソン2011」に関西大学が特別協賛

4月29日、堺市大仙公園特設会場を舞台に開催された「堺シティマラソン2011」に、本学が特別協賛した。

大会は、健康マラソン4.5kmコースや男女10km マスターズなど4部門で行われ、完走した参加者は充実した表情で互いの健闘を称え合った。

本学からは楠見晴重学長が、本学と包括連携協定を結ぶ堺市の竹山修身市長とともにファミリーマラソン2.5kmにエントリーし、見事に完走した。人間健康学部からは学生ボランティアが参加し、給水サービス、手荷物預りなどの運営スタッフとして活躍した。

本学の特設ブースでは、人間健康学部の教員と学生による血管年齢測定やAEDを利用した蘇生法の実演を行った。ブースは行列を作るほどの大盛況で、堺市民との交流ができたことに加え、学生にとっても絶好の課外学習の場となった。

堺キャンパスが開設2年目を迎えたことで、堺市と本学との地域連携事業のさらなる充実が図られている。詳細は人間健康学部のウェブサイトなどで随時掲載されるので、確認していただきたい。

http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_hwl/
(堺キャンパスオフィス)



スタート前給水ポイントで水分補給を呼びかける人間健康学部の学生

関西大学堺キャンパス開設記念ゲームを開催

堺市金岡公園体育館で3月19日と20日、堺市との地域連携事業として、プロバスケットボールbjリーグチームである大阪エヴェッサの協力のもと、bjリーグ2010-2011シーズン オフィシャルゲームズ「関西大学堺キャンパス開設記念ゲーム」大阪エヴェッサvs.滋賀レイクスターズを開催した。

堺市への地域貢献活動の一環として約1,000人の堺市民をゲームに招待し、小学生を対象とした大阪エヴェッサコーチ陣によるバスケットボール教室が開催された。20日には、日本車椅子ツインバスケットボール連盟によるデモンストレーションも行われ、人間健康学部学生が選手紹介を行うなど会場を大いに盛り上げた。

当日は人間健康学部の学生が、会場の設営や撤収など試合運営のサポートを行い、また学生企画による関西大学ブースを出展し、来場者との交流の場を提供した。



関西大学出展のブースの様子

高槻キャンパス祭を開催

高槻キャンパスでは、毎年5月に高槻キャンパス祭を開催しており、今年は5月29日(日)に開催を予定している。本学の学生をはじめ、地域住民が参加し、来場者は4,000人を越える大盛況のイベントである。

今年のテーマは「Triangle」。「Triangle」には3つの組という意味がある。高槻キャンパス祭の成功には、学生、教職員そして地域住民の方々という3つのグループの協力が欠かせない。それぞれの協力のもと、楽器の「Triangle」がさまざまな音色を奏できるようにさまざまな企画を協力して創り上げていきたいという想いがテーマにこめられている。

今年も、プロさながらのスタジオイベントや体育施設の開放、応援団による迫力ある演舞・演奏、模擬店、研究発表、毎年大人気のフリーマーケットなどを企画している。

今年も楽しいイベントが目白押しである。ぜひ、高槻キャンパス祭で共に楽しい思い出を作ってもらいたい。(高槻キャンパス事務グループ)

多言語情報検索サイト「かすたねっと」が公開

総合情報学部が開発した、帰国・外国人児童生徒教育のために多言語情報資源とその検索ツールを提供するウェブサイト「かすたねっと」<http://www.casta-net.jp/> (運営主体：文部科学省) が3月30日公開された。

「かすたねっと」は、多言語による文書や日本語指導、特別な配慮をした教科指導のための教材など、これまで全国の教育委員会、国際交流協会、NPOなどにおいて個別に公開されてきたさまざまな資料を多面的に検索できるポータルサイトである。文部科学省初等中等教育局国際教育課が運営主体となり、総合情報学部が情報検索システムの開発・管理を、豊橋技術科学大学情報メディア基盤センターが、サーバーの提供・運用を、各都道府県・市町村教育委員会が著作物の公開・登録を担当し、連携協力のもとで運用される。

このウェブサイトは、トヨタ財団の助成プロジェクト「情報基盤技術で支える教育現場の多言語利用環境」(代表：喜多千草教授)の成果を受け継ぐもので、「かすたねっと」の情報検索システムには、本学の堀雅洋教授の研究室で開発された多言語校務文書検索ツール、およびそれを発展させた教材検索ツールが用いられている。



「かすたねっと」のウェブサイトトップ画面

体育会サッカー部の櫻内渚さんが、ジュビロ磐田に加入内定

体育会サッカー部の櫻内渚さん(政策創造学部4年次生)が、2012シーズンの新加入選手として、ジュビロ磐田への加入が内定した。これで、関大から4年連続でJリーガーが誕生する。

櫻内さんは、攻守にわたりハードワークができる右サイドバックで、身体能力が高く、1対1の守備には絶対の自信を持つ。同時に、持ち前の運動量でサイドを駆け上がり、

随所で攻撃にも参加。空中戦にも強く、正確なパスやクロスを送り、ゴールを演出する。

内定が決まり、周囲からの期待が高まるなか、「サッカーを続けてこれたのは皆さんのおかげです。恩返しをすると共に感謝の気持ちを持ち続け、ジュビロ磐田のために精一杯頑張っていきたい」と謙虚さを忘れない。大学最後の1年間、益々活躍を続ける櫻内さんから目が離せない。



(写真提供：関大スポーツ編集部)

水谷修客員教授による講演会を開催

千里山キャンパスで4月20日、水谷修客員教授による講演会「キャンパスライフにおけるマナー・モラル～薬物問題を中心に～」を開催した。

講演会は第2時限と第3時限の2度開催され、両時限あわせて約1,000人の学生が聴講した。「夜回り先生」として有名な水谷先生が薬物依存症となった少年少女と実際に関わった経験をもとに、薬物の恐ろしさと、薬物の誘惑に負けない強い意志を持つことを学生に伝えた。学生は水谷先生の講演を熱心に聞き、薬物の危険性について深く考える機会となった。



東日本大震災（福島第一原子力発電所事故を含む）被災学生への経済的支援について

本学では、東日本大震災（福島第一原子力発電所事故を含む）で被害に遭われた以下の在对学生に対して、申請に基づき経済的支援を行っています。

■災害救助法適応地域で被害に遭われた在學生、福島第一原子力発電所から半径30km圏内に居住している在學生

- (1) 授業料などの減免措置
- (2) 「就学支援助成金」および「植田特別奨励金」の給付

■上記以外の福島県に居住している在學生

- (1) 「就学支援助成金」および「植田特別奨励金」の給付

該当する方で、これらの特別措置を希望する場合は、ウェブサイト特設ページ「地震に対する関西大学の対応について」<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/eq.html>にて詳細を確認してください。なお、就学支援助成金は、教職員、校友、父母、役員など本学関係者から募った義援金で賄われます。

関西大学文化・学術活動等奨励金制度【企画部門】募集について

この制度は、課外活動や自主活動において優れた企画を持つ学生に対し、奨励金をもって支援するものである。

応募要領（企画部門）

【応募資格】

本学に在学する学生または所属する団体のうち、文化、学術、福祉、ボランティア活動などの分野において、優れた企画を有する個人または団体。

【応募方法】

所定の「活動計画書」「予算書」に必要事項を記入の上、窓口へ提出。

【応募期間】

平成23年5月6日～5月31日(火)

【対象期間】

平成23年4月1日～平成24年3月31日(土)の間に実施・完了する活動。

【奨励金】

奨励金額は企画内容により決定し、個人については20万円を上限とする。

【結果通知】

6月中旬に書類審査及び面接を実施し、7月中旬に決定。

※「企画部門」の他に実績を評価する「業績部門」も12月に募集を行う。詳しくは学生生活支援グループまで問い合わせのこと。

(学生生活支援グループ)

平成22年度に活躍した団体・個人へ校友会が表彰

校友会はこのたび、平成22年度に活躍した4団体と1個人を表彰し、助成金を贈った。これは、毎年1回、校友会から、課外活動を通して、社会的に意義のある活動や優秀な成績を収めた団体や個人へ贈られるもので、平成22年度に表彰された団体、個人は右表のとおりである。今後益々の活躍が期待される。

部名および個人名	大会名	実績
文化会本部	みちあかり 関西大学文化会	吹田市と連携し、吹田市制70周年記念事業の一環で行われた行事に参加した。同文化会に所属する能楽部、映画研究部、交響楽団、茶道部がこの催しに参加し、吹田市民に広く活動の成果を披露し、本学学生文化の発信に寄与した。
文化会 映画研究部	第30回「地方の時代」映像祭2010	平成22年11月20日に本学にて開催された同映像祭において、「23歳、職業：革命家」が市民・学生・自治体部門において優秀賞を受賞した。
関西大学学生チーム「漢舞」	第1回よさこい甲子園	平成22年12月23日阪神甲子園球場にて、阪神淡路大震災の追悼イベントとして実施された同事業において、グランプリ、兵庫県知事賞を受賞した。同事業には、全国から48チーム、約4,500人の参加があり、その中から初代グランプリに輝いた。
山口直哉さん (総合情報学部4年次生)	第39回全日本学生将棋十傑戦	平成22年12月22日～23日にかけて実施され、全国各地から代表選手16名が参加した同大会学生王将戦において、優勝を果たし、学生王将となった。(本学からの学生王将は昭和48年、平成6年以来3人目)
文化会 能楽部	2010年上海国際博覧会記念 上海万博「大阪ユネスコ協会日本文化交流祭」	上海万博日本文化交流会にて、日本の伝統文化である能楽を披露した。当該事業により、部の代表者には、主催者である大阪ユネスコ協会および上海市人民政府外事弁公室より感謝状が贈られた。

KUカレンダー5/16-31

日程	イベント・行事名	主対象	問い合わせ先
16日(月)	2011年度春季人権啓発行事	学生・教職員・一般	学長課
	文学部 学術講演会	学生・教職員・一般	法文オフィス
17日(火)	文学部 ドイツ学専修講演会	学生・教職員・一般	文学部ドイツ学専修合同研究室
	建築家 安藤忠雄氏による講演会	学生・教職員・一般	理工系オフィス
18日(水)	経済・政治研究所 第190回産業セミナー	学生	研究所事務室
	会計専門職大学院 説明会・施設見学会	学生	大学院入試グループ
19日(木)	先端科学技術推進機構 第34回研究部門別発表会	学生・教職員・一般	先端科学技術推進機構
	2011年度春季人権啓発行事	学生・教職員・一般	学長課
20日(金)	社会学部 日本音楽著作権協会(JASRAC) 寄附講座	学生・教職員・一般	経商社オフィス
	すこやか教養講座(第2期)	学生・教職員・一般	堺キャンパスグループ
21日(土)	法科大学院 進学ガイダンス	学生	大学院入試グループ
	商学部 学術講演会	学生・教職員・一般	経商社オフィス
27日(金)	社会学部 日本音楽著作権協会(JASRAC) 寄附講座	学生・教職員・一般	経商社オフィス
	人権問題研究室 第65回公開講座	学生・教職員・一般	人権問題研究室
28日(土)	すこやか教養講座(第2期)	学生・教職員・一般	堺キャンパスグループ
	先端科学技術推進機構 外国語による特別講演会	学生・教職員・一般	先端科学技術推進機構
31日(火)	先端科学技術推進機構 外国語による特別講演会	学生・教職員・一般	先端科学技術推進機構

イベント・行事については、予告なく変更される場合があります。また、今後追加・中止となるイベント・行事もあります。詳細・最新情報については、本学ウェブサイトならびに問い合わせ先のウェブサイトなどで必ず確認してください。

期待の新人選手に注目

昨年度、輝かしい実績を残した関大カイザース。今年度も強力な新戦力が仲間入りをしました。成長著しいフレッシュな新人選手たちが、今年も体育会を盛り上げること間違いなし。ここでは、4人の注目の新人選手を紹介します。

水上競技部

吾郷 みさきさん (人間健康学部1年次生)



「必ずオリンピックに出る」。そう前を見据えるのは50メートルバタフライの高校記録保持者、吾郷さん。期待の新星は今年から関大の名を背負い、世界へ挑む。

小さいころからプールが好きで、自然と水泳に

興味を持った。幼稚園から本格的に習い始め、小学3年生で早くもジュニアオリンピックの表彰台に立つ。中学、高校と著しい活躍を続け、高校2年生の時、東アジア大会では見事高校新記録を樹立する。

水泳に生かすため「スポーツの勉強をちゃんとしたい」と人間健康学部への進学を決意。世界を見据え、常に目標を定めて練習に取り組む。目指すはもろろ五輪の大舞台。4月9日～11日に行われた国際大会代表選手選考会の3位は、吾郷さんにとっては納得のいかない結果だ。

「しんどいけれど楽しい。私にはこれしかない。やめられない」。常に進化し続ける努力家スイマー。世界の頂点に国旗を掲げるその日まで、彼女の躍進は止まらない。

馬術部

山田 晃嗣さん (政策創造学部1年次生)



馬術部に佐賀県が誇る逸材、山田さんが加わり、パートナーのピトロリーナと共にさっそうと馬場を駆け巡る。

小学4年生のとき、近所にオープンした乗馬クラブに家族と訪れ、馬術と出会った山田さん。高校1年生のときに出場した大分国体は競技人生の転機となる。二段階障害飛越の少年の部に登場した山田さんは見事優勝を果たし、翌年の新潟国体でも、少年リレーの部で1位を獲得した。大分国体優勝後、千葉県成田乗馬クラブに所属を移し、より高いレベルの本州で、ますます馬術に打ち込んだ。

入学を決めたのは、2007年から3年連続で全日本学生を制した関大。レベルの高さと、元五輪代表・若原総監督の指導力が決め手となった。自身とともに生活環境が変わるピトロリーナを安心して預けられる設備にも、信頼を寄せている。

部内は選手層が厚く、毎回レギュラー争いがし烈を極める。まずは、秋に行われる全日本学生メンバー入りが目標だ。愛馬と迎える新たな競技生活の幕が開ける。

アイスホッケー部

西口 由悟さん (政策創造学部1年次生)



(写真提供: for one moment III)

アイスホッケー部の期待のルーキー西口さん。

幼稚園のとき初めてスティックを握り、大阪のクラブチームに入部。その後、拠点を北海道に移し、高校は数々のタイトルを手に入れている強豪校、駒大苫小牧高へ進学。1年生の冬には全国の舞台を経験し、このころから徐々に真価を発揮し始めた。

西口さんのポジションはDF。12歳までのFW経験を生かした得点力が最大の武器になる。3年の春に出場した世界U18選手権大会では、ゲームベストプレイヤー賞を獲得し、高校最後のインターハイは、全試合完封勝利で有終の美を飾った。

次の舞台として「学べることが多い関大で成長したい」と進学を決意。練習試合を通してチームのプレーや雰囲気魅了された。充実した練習環境と偉大な鈴木コーチ(元日本代表)の存在も理由の1つだ。

まずは「関西初のインカレ優勝を狙いたい」と意気込みは十分。北の大地からやってきた強力なディフェンダーが氷上で大暴れる日は、もうすぐそこだ。

拳法部

上原 聖矢さん (人間健康学部1年次生)



日本拳法発祥の地であり、何度も日本一に輝いてきた関大。昨年惜しくも4連覇を逃し、王座復権をめざす拳法部に新たな戦力が加わる。高校の全国大会団体戦で準優勝を果たした上原さんだ。

拳法とは高校のときに出会った。中学時代はサッカーをしていたが、先輩からの誘いで入部を決める。全く知らなかった競技なだけに、試行錯誤を繰り返し、得意な組み技を磨き、自分の拳法を形作っていった。高校最後の夏に行われた全国大会の団体戦。決勝で大将を務めた。リードを許した状況で「攻めるしかない」と果敢に攻撃を仕掛けたが惜しくも敗北。準優勝に終わった。

恩師の後押しもあり、関大への進学を決めた上原さん。「もっとスピードをつけていかないと」。今後の課題も見え始めた。大学での目標は高校で果たせなかった全国制覇だ。今季へ臨む拳法部にとって、彼の突きが王者復活への鍵となる。

おめでとう! 日本人初の偉業達成 後藤沙季さん、西山宏美さん 世界Jr.銅

2010年12月17日～22日までカタルー・ドーハで行われた「2010 470級ジュニア世界選手権」大会において、後藤沙季さん(文学部4年次生)と西山宏美さん(文学部3年次生)ペアが銅メダルを獲得した。470級ジュニア世界選手権での銅メダル獲得は、男女通して日本人初の快挙だ。

世界の表彰台に登った2人だが、最初にペアを組んだのはわずか2年前。大学からヨットを始めた西山さんは、船の進路判断を行うクルーを務める。かじ取りであるスキッパーを担うのは、競技歴14年の後藤さん。2年前にも同大会を経験し、初の世界大会に挑む相方を引っ張る。

今大会は、U-22の各国代表が集った。「楽しもうと思った」と語る西山さん。不安やプレッシャーは全く感じなかった。1日目、滑り出しは順調ではなかったが、なんと4位につけた。2日目は、軽量組の2人にとって有利な弱風。無我夢中で前へと船を進め、風を味方につけ、1つ目のマークでトップに立つ。1位のままゴールまで逃げ

切った。第4レース、第5レースもトップフィニッシュ。1日に3度の1位をとるハットトリックを達成した。そのまま予選1位で決勝へと進む。臨んだ最終

日は苦手な強風が吹き荒れる中、お互いを励まし合い踏ん張った。結果わずか1点差で3位。当初は予想しなかった順位に彼女たちの笑顔がはじけた。

世界を経験し、自らの実力を痛感した。目の当たりにしたライバル選手の高レベルな技術。世界で学んだことは、日々の練習に生かしている。今後の目標は“全日本完全優勝”。世界3位の肩書がついても、勝利への執念は変わらない。



ヨット部

アイススケート部

世界選手権にて 高橋大輔さん5位、織田信成さん6位と健闘

4月27日、28日にロシアのモスクワで行われたフィギュアスケート世界選手権2011において、高橋大輔さん(文学研究科M2生)が5位、織田信成さん(文学研究科M1生)が6位と健闘した。日本勢で初の大会連覇を狙った高橋さんだったが、スケート靴のエッジが外れるというアクシデントがあり演技を一時中断。再度集中力を高め、気迫のこもった演技を続けた。織田さんはジャンプのミスで得点が伸びなかったが、総合6位とふんばった。

(写真提供: 編集: 関大スポーツ編集局)